

済生会中和病院 医師労働時間短縮計画

計画期間 令和7年4月～令和9年3月 (令和7・8年度用)

対象医師 内科 医師5名
 整形外科 医師1名
 脳神経外科 医師1名

1. 労働時間と組織管理

(1) 労働時間数

内科 A医師 管理者

年間の時間外・休日時間数	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標
平均	58時間	50時間	50時間
最長	67時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	3	3	2
年間960時間超	0	0	0

内科 B医師

年間の時間外・休日時間数	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標
平均	56時間	50時間	50時間
最長	61時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	2	2	2
年間960時間超	0	0	0

内科 C医師

年間の時間外・休日時間数	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標
平均	51時間	50時間	50時間
最長	60時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	1	1	0
年間960時間超	0	0	0

内科 D医師

年間の時間外・休日時間数	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標
平均	63時間	57時間	50時間
最長	101時間	75時間	60時間
月60時間超の回数	3	3	2
年間960時間超	0	0	0

内科 E医師

年間の時間外・休日時間数	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標
平均	60時間	55時間	50時間
最長	73時間	65時間	60時間
月60時間超の回数	3	2	0
年間960時間超	0	0	0

整形外科 F医師

年間の時間外・休日時間数	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標
平均	55時間	50時間	50時間
最長	72時間	63時間	60時間
月60時間超の回数	1	1	1
年間960時間超	0	0	0

脳神経外科 G医師 管理者

年間の時間外・休日時間数	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標
平均	52時間	50時間	50時間
最長	60時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	1	1	1
年間960時間超	0	0	0

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

令和6年度実績	ICカードによる勤怠管理と時間外労働時間の管理については所属長、部門長の決済のもと申請書にて管理している。
令和7年度取組目標	衛生委員会で月1回長時間労働者の確認を行い、長時間労働者とその上司にはイエロー・レッドカードの注意喚起を行い長時間労働の削減を目指す。
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

令和6年度実績	宿日直許可の有る宿日直に勤務した場合、救急対応業務等の通常業務にあたった時間については時間外労働勤務として管理している。
令和7年度取組目標	引き続き上記体制により救急医療に対応していく。
令和8年度取組目標	引き続き上記体制により救急医療に対応していく。

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確にするための手続き等】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 自己研鑽か労働時間かの明確化については、労働時間に該当するものとし ないものに分けた項目別の表を作成した。 医局会等で説明会を開催して表を配布し、周知した。
令和7年度取組目標	上記事項に引き続き取り組み新入職医師への周知を徹底する。
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【労使の話し合い、36協定の締結】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回開催の衛生委員会での確認と労働者の過半数で組織する互助会の 代表と協議し締結している。 労働基準監督所へ毎年8月に届け出を行い、職員へ周知している。
令和7年度取組目標	新入職医師への周知
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【衛生委員会、産業医の活用、面接指導の実施体制】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会を月1回開催している。 ・健康診断を年2回実施している。 ・産業医を選任している。 ・長時間労働医師への面接指導の実施に係る研修を2名の医師に修了してもらい、面接のフローチャートを作成して面接指導実施体制を確立した。
令和7年度取組目標	新入職医師への周知と面接指導件数を0件を目標とする。
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【追加的健康確保措置の実施】

令和6年度実績	医師に対して説明会を開催して周知して勤務間インターバル9時間の確保を努力目標として取り組んだが、外科系の医師を中心に年間16名の医師が9時間を確保できない日が107日あった。
令和7年度取組目標	実態を医師へ周知して、年間10名、70日以内の目標数値を目指す。
令和8年度取組目標	上記事項に取り組む（達成時には新たな目標数値を設定）

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務環境改善支援センター主催の研修会に病院長、副院長、事務部長、人事部長が参加 ・厚労省または民間のWEB研修に参加
令和7年度取組目標	引き続き医師の働き方改革関連の研修会に参加していく
令和8年度取組目標	上記事項に取り組む

(4) 策定プロセス

【策定プロセス】

<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働医師の該当する主任部長との意見交換や毎月開催している医師労働時間等設定改善委員会で検討して決定した。 ・策定後は医局やホームページに掲示して周知する

2. 労働時間短縮に向けた取り組み

(1) タスク・シフト/シェア

【看護師】

令和6年度実績	特定行為看護師の活用を推進して、特定行為看護師1名から3名に資格取得者を増員できた。
令和7年度取組目標	特定行為看護師研修を受講する看護師を1名選任して、更なる医師の負担軽減を目指す。
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【臨床工学技士】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡センターに専属の臨床工学技士を1名配属した。 ・手術室での臨床工学技士の活用を実施した。
令和7年度実施予定	上記事項に引き続き取り組み、医師・看護師の負担軽減を目指す。
令和8年度実施予定	上記事項に引き続き取り組む

【医師事務作業補助者】

令和6年度実績	1名増員して、更なる医師の負担軽減を行った。
令和7年度取組目標	ICTの活用を含め業務効率を高め、医師の負担軽減を目指す。
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

(2) 医師の業務の見直し

【宿日直の体制、分担の見直し】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理上の観点から当直翌日の13時以降をフリーとしたが、各診療科で格差あり1人または2人配属の診療科では通常業務を遂行することが精いっぱいフリーとすることが困難 ・当直専用の臨時職員の採用 内科2名、外科3名
令和7年度取組目標	上記事項を引き続き取り組む
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【副業・兼業を行う医師の労働時間の管理】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各医師に副業・兼業先での時間外労働時間を月1回の提出を要請して管理体制を確立した。 ・衛生委員会での副業・兼業先での時間外労働時間を含むすべての時間外労働の確認
令和7年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

(3) その他の勤務環境改善

【ICTその他の設備投資】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学会や研修会・会議等の参加は可能な限りオンライン参加とし、拘束時間の短縮を図っている。 ・脳神経外科においてオンライン上にて当直医の診療の補助を行っている。
令和7年度取組目標	上記事項を引き続き取り組む
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【出産・子育て・介護など、仕事と家庭の両立支援】

令和6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・出産・育児・介護休業に関する規定の改正を行い、医師にも適用され育休取得者が1名あった。
令和7年度取組目標	上記事項を引き続き取り組む（短時間正職員制度や育休取得）
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む